

アルゴランド財団ガバナンス・システム

ガバナー向けガイド

この文書は、アルゴランド財団ガバナンス・システムにおけるガバナー画面について説明しています。このシステムに参加するためのガバナーになる方は以下のことをする必要があります。

1. サインインして、次のガバナンス期間に自分のAlgoをコミットする
2. 当該期間中のすべての投票セッションに参加する
3. ガバナンス期間が終了したら、ガバナンス報酬を請求する

このガイドでは、まず最初のステップとして、サインインしてウォレットを接続し、任意のAlgoの数をガバナンス期間にコミットする方法を説明します。ステップ2と3の詳細については、後ほど説明します。

アルゴランドのガバナンスへのサインアップ

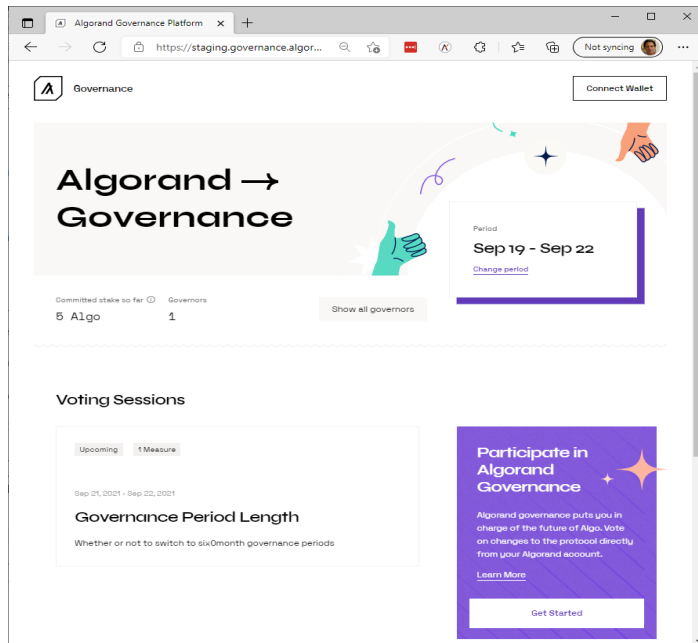
アルゴランドのガバナンス・システムは、四半期ごとのガバナンス期間で構成されており、ガバナーは各期間ごとに毎回新たにサインアップする必要があります。ガバナンス期間のサインアップ・ウィンドウは、その期間が始まる2週間前に開かれます。第1期は、2021年10月1日にサインアップの受付が開始され、ガバナンス自体は2021年10月15日に開始されます。

ガバナーになるには、ウォレットやカストディアンを使って、自分で管理するアルゴランドのアドレスが必要です。このガイドでは、4つの異なるウォレットを使った例を紹介します。モバイル・デバイス上のアルゴランド・ウォレット (Algorand Wallet)、ウェブベースのMyAlgoウォレット、Chrome拡張機能のAlgoSigner、そしてAlgoをサポートするもののガバナンスとは統合されていない一般的なウォレット／システムです。

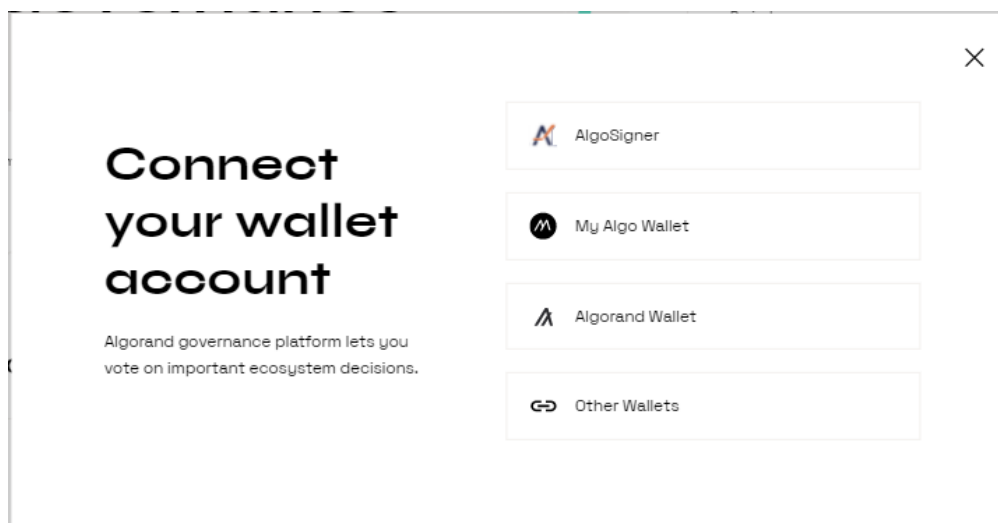
ガバナーがこれらのアドレスとの接続を確立すると、ガバナンス・システムのダッシュボード (<https://governance.algorand.foundation>) でアクセスできるようになります。

ステップ 1. ウォレット接続

ダッシュボードのランディング・ページは下記のようなイメージです。

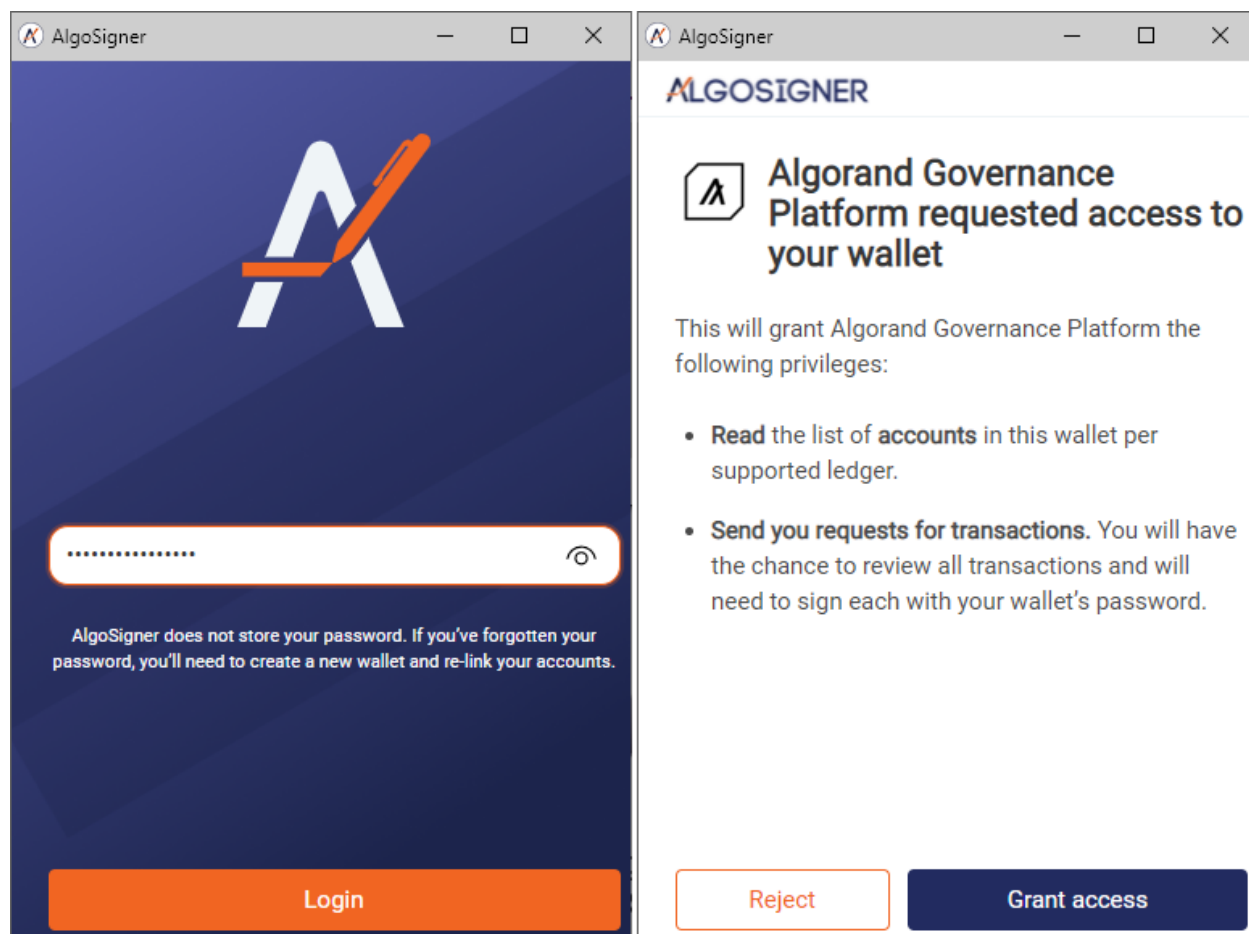


ガバナーが最初に行うことは、ダッシュボードの上部にある「ウォレットを接続 (Connect Wallet)」ボタンをクリックして、ウォレットをダッシュボードに接続することです。このボタンをクリックすると、次のようなダイアログ・ボックスが表示され、ガバナーは使用するウォレットを指定することができます。また、紫色の「ガバナンスへの参加 (Participation in Algorand Governance)」セクションにある「開始する (Get Started)」から、このダイアログ・ボックスに移動することもできます。

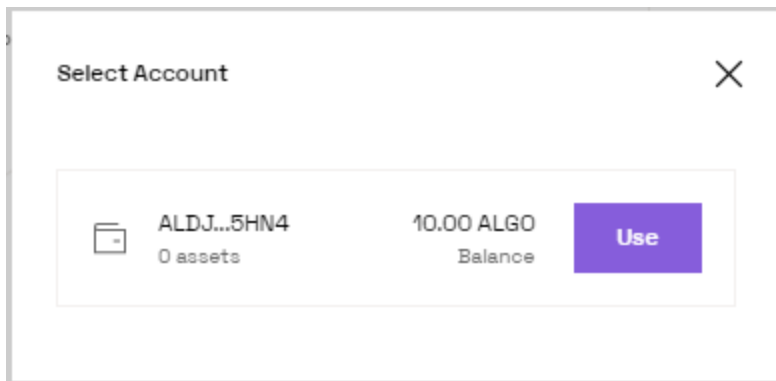


1.1. クローム拡張機能「AlgoSigner」を利用する場合

AlgoSignerボタンをクリックすると、エクステンションが開き、ガバナーにAlgoSignerのパスワードの入力を求め、このシステムでエクステンションを使用する許可を求めてきます。



アクセスを許可した後、ガバナーはAlgoSignerのどのアドレスをガバナンスに使用するかを指定する必要があります（この例ではアドレスは1つだけです）。



「使用 (Use)」ボタンをクリックすると、このアドレスが接続され、ダッシュボードの右上のボタンに反映されます。

1.2. アルゴランド・ウォレットを利用する場合

パソコンのWebブラウザでAlgorand Walletボタンをクリックすると、このようなWalletConnectのQRコードが表示されます。

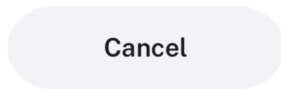
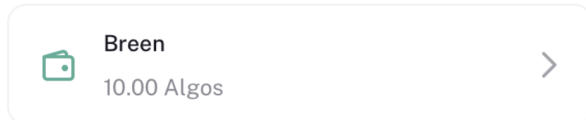


QRコードを読み取ると、アルゴランド・ウォレットに以下のような通知が届きます。



Algorand Governance Platform wants to connect to your account

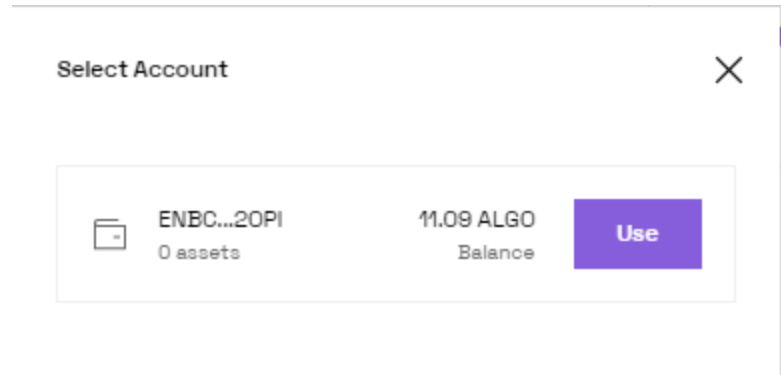
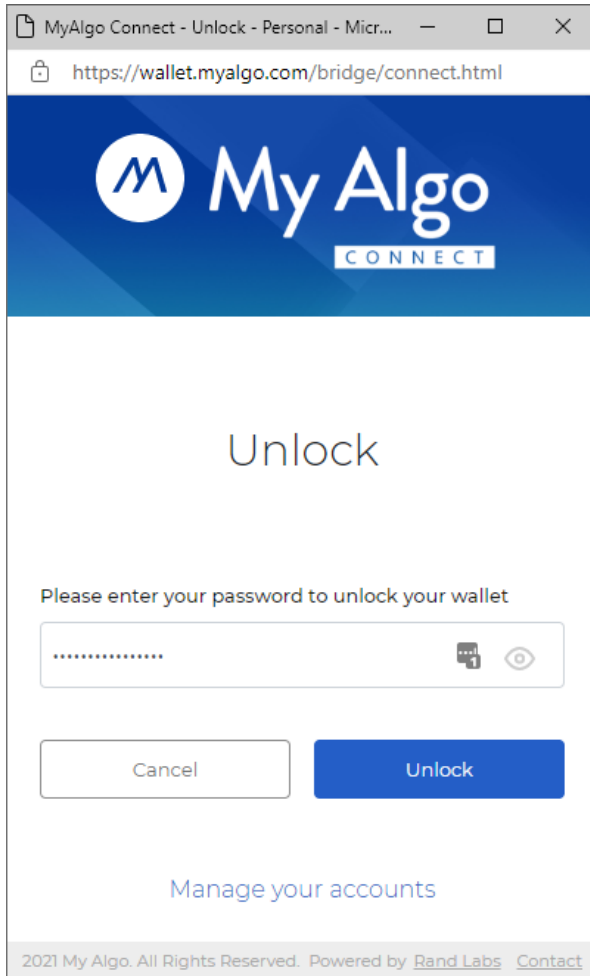
<https://staging.governance.algorand.foundation>



「接続 (Connect)」ボタンをクリックして、ウォレットをWebポータル・アプリケーションに接続します。ブラウザに戻ると、アカウントのリストが表示されます (通常は1つのみ)。ガバナンスに参加するために使用したいアカウントの「使用 (Use)」ボタンをクリックしてください。

1.3. MyAlgoウォレットを利用する場合

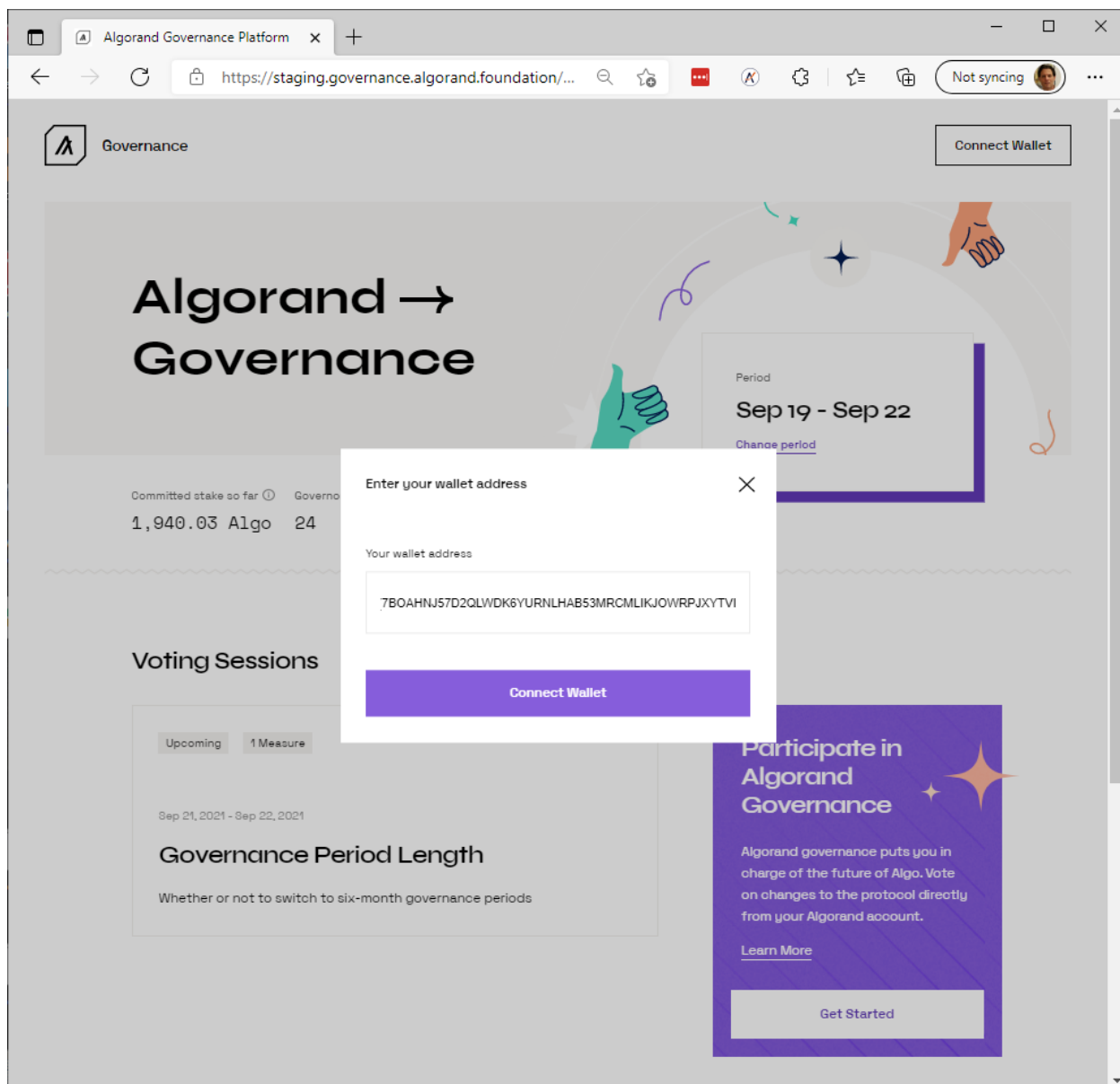
MyAlgoウォレットのボタンをクリックすると、パスワードを尋ねるダイアログが表示され、そのウォレットに登録しているアドレスの中からガバナンスに使用するものを選ぶことができます。



MyAlgoウォレットに複数のアドレスを登録している場合は、「アカウントの管理 (manage your accounts)」のリンクをクリックして、どのアドレスをガバナンスで使用するかを選択してください。

1.4 その他のウォレットを利用する場合

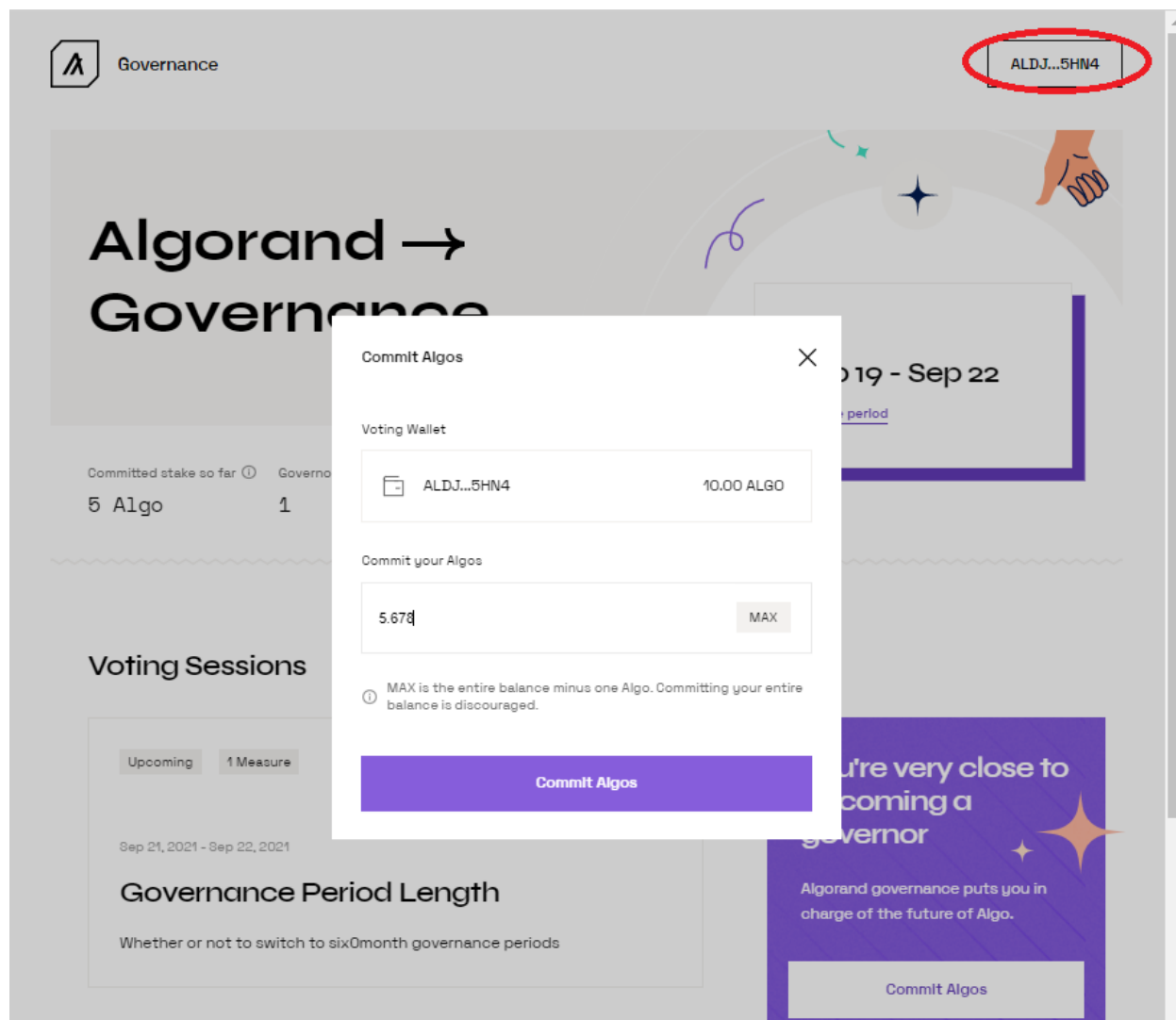
上述の3つのウォレットはガバナンス・システムと統合しているため使用するのに便利ですが、多くのガバナーは、他のウォレットやカストディアンを使用したいと思うかもしれません。この場合、「その他のウォレット (Other Wallets)」を選択すると、ダイアログが表示され、ガバナーは使用したいアドレスを指定することができます。



The screenshot shows the Algorand Governance Platform interface. At the top, there is a navigation bar with the Algorand logo and the word "Governance". A "Connect Wallet" button is visible in the top right corner. The main content area features a large heading "Algorand → Governance" and a "Period" section showing "Sep 19 - Sep 22" with a "Change period" link. Below this, there is a "Voting Sessions" section with a "Measure" card titled "Governance Period Length" and the question "Whether or not to switch to six-month governance periods". A modal dialog box titled "Enter your wallet address" is overlaid on the page, containing a text input field with the address "7BOAHNJ57D2QLWDK6YURNLHAB53MRCMLIKJOWRPJXYTVI" and a "Connect Wallet" button.

Step 2. Algoをコミットする

これでウォレットが接続され、右上の「ボタン」にアドレスが表示されます。



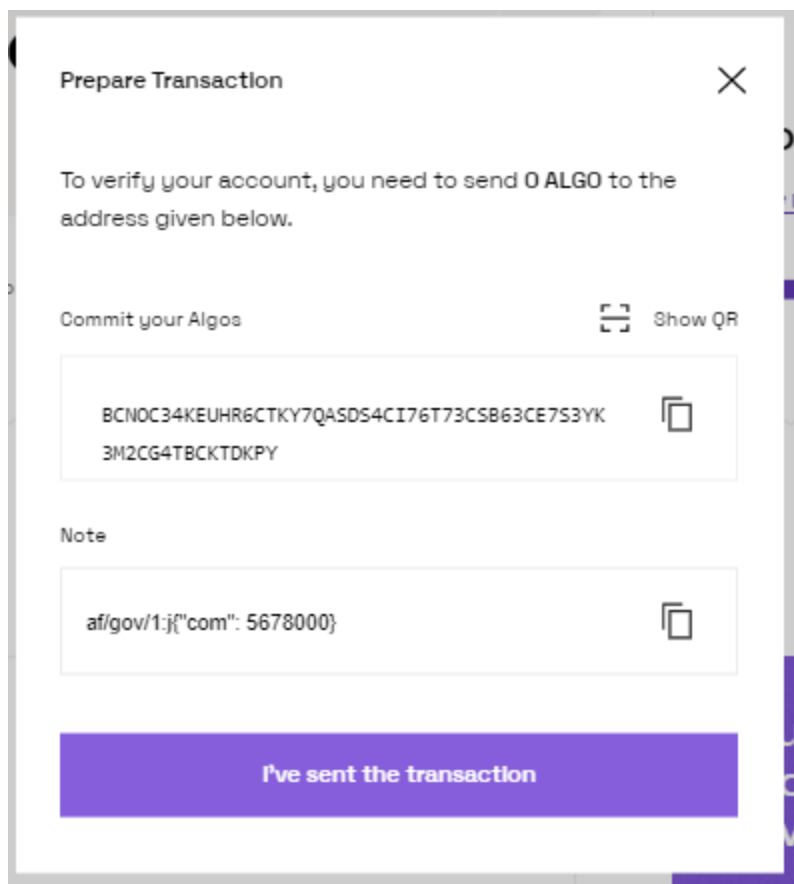
次に、ガバナーはサインアップして、このガバナンス期間にコミットしたいAlgoの数を指定する必要があります。紫色のボックスの下部にある「Algoをコミット (Commit Algos)」をクリックすると、別のダイアログ・ボックスが表示され、コミットするAlgoの数を尋ねられます。

なお、このアドレスで全残高をコミットすることはお勧めできません。ガバナーは、ガバナンス用アドレスからゼロAlgoの取引をいくつか送信することが予想され、そのための取引手数料を支払わなければならない、このアドレスの残高がコミット・レベルを下回る可能性があります。ガバナンス用アドレスの

残高よりも最大で1Algo少ない量をコミットすることをお勧めします。例えば1,000Algoをコミットしたい場合、アドレスには1,001Algoが必要です。

この例では、5.678 Algo(すなわち、5678000 microAlgo)をコミットしています。AlgoSigner、Algorand Wallet、MyAlgo Walletのいずれかを使用して「Algoのコミット(Commit Algos)」ボタンをクリックすると、適切な取引が表示され、署名を求められます。

「その他のウォレット」を使用しているときにこのボタンをクリックすると、次のようなポップアップ・ダイアログ・ボックスが表示されます。



ここで自分のウォレットを使って、自分のガバナンス用アドレスからダイアログ・ボックスに表示されているアドレス(BCNO...KPY)にゼロAlgo送信トランザクションを署名して送信し、ノートフィールドに第2フィールドの内容(例:af/gov1:j{"com":5678000})を入力する必要があります。このトランザクションがネットワークに送信されたら、「トランザクションを送信しました(I've sent the transaction)」というボタンをクリックしてページを更新すると、ダッシュボードにコミットが反映されます。下記は、コマンドライン・ツールのgoalを使って、以下のトランザクションをブロックチェーンに送信した例になります。

```
% goal clerk send -a 0 -f  
ALDJ4R2L2PNDGQFSP4LZY4HATIFKZVOKTBKHDGI2PKAFZJSWC4L3UY5HN4 -t
```

BCNOC34KEUHR6CTKY7QASDS4CI76T73CSB63CE7S3YK3M2CG4TBCKTDKPY -n
'af/gov/1:j{"com": 5678000}'